

# 4月 学校だより 第1号 椎の苗木

木城町立みどりの杜木城学園  
令和7年 4月21日(月)  
文責：松ノ木 陽平

## 始業式

4月8日(火)に新学期がスタートしました。2人の代表学園生が1年間の抱負を述べました。

### 4年生代表

「思いやりのある人になりたい」

- 下級生に優しくする：1年生が困っていたら優しく声をかけ、相談にのってあげたい。また、4年生は1年生の給食当番の手伝いをするので、すばやくしてあげたい。
- 友達と仲良くする：自分の言葉が友達を傷つけていないかを考えて、友達に接したい。そして、自分がされたら嫌なことはしないようにしたい。
- 落ち込んでいる人を励ます：落ち込んでいる人に話しかけて、あきらめないように励ましたい。



### 9年生代表

「チャレンジの年にしたい」

- 部活動で、キャプテンの真剣に取り組みたいというスピーチに心を動かされ、最後の大会で結果を残せるように頑張りたいと思うようになった。
- 進路決定に向けて、将来美容師になりたいので勉強を頑張らないといけない。そのために、苦手教科の復習を中心に取り組み、克服したい。
- 義務教育学校最後の1日1日を大切にしたい。



## 7年生制服お披露目

本校は義務教育学校ですので、小学6年生の卒業式と7年生（中学1年生）の入学式がありません。しかし、7年生から後期課程が始まり、これまでと違い制服で学校生活を送ることになります。そこで、その節目を祝うために、始業式の後に7年生の制服お披露目が行われ、代表学園生が、8・9年生のように学校を引っ張っていけるように、そして前期学園生のお手本になれるように頑張りたいと誓いの言葉を述べました。



## 入学式

学園生でいてほしいと思います。そして、あいさつができる人、自分のことは自分ででき4月11日（金）に第3回入学式が行われ、39名が入学しました。みんな元気のよい返事ができていました。また、校長先生や来賓の方々のお祝いの言葉の「おめでとうございます」に対して「ありがとうございます」と返す姿が微笑ましかったです。校長先生のお話の中にも、「あ



りがありがとうございます」とお礼の言葉が言える

人になってほしいという願いがありました。これからも感謝の気持ちを伝えられる人になってほしいです。これらのことは難しいことかもしれませんが、周りには優しくて頼りになるお兄さんお姉さんや先生方がいますので、遠慮なく助けを求めてください。さらに、地域の温かい支援もありますので、家庭・地域・学校で協力しながら木城学園をよりよい学校にしていきたいと思います。



### 耕心コーナー 令和七年度のスタート

義務教育学校みどりの杜木城学園の3年目がスタートしました。昨年度末には、五十七名の学園生が県内外に自慢できる姿で巣立っていきました。中学三年生ではなく、義務教育学校九年生の姿であり、本当に立派でした。優しさがあって憧れの先輩で、全員が第一志望の高校等に進学しました。まさしく義務教育学校として目指す姿を示してくれたと思っています。

新年度のスタートに当たり、改めて木城小、木城中の歴史と伝統を受け継ぎ発展させるとともに、木城学園設立時の基本理念である「夢を抱き元気なあいさつと笑顔があふれ子どもの生命と瞳が輝く学校づくり」を校是とし、しっかりと引き継いでいきたいと思っています。また、これからの変化の激しい社会を生き抜いていくためには、自ら考え行動し自己の未来を切り拓いていく力が必要であり、本校ではその力を育成する教育活動を大切に進めていくことから、「立志」を校訓としています。この校是・校訓のもと、九年間を見通した組織的かつ系統性・連続性のある教育活動を展開し、社会性や調和のとれた人間性の育成を図るとともに、家庭や地域等と連携・協働した「木城ならではの教育」を推進し、ふるさと木城を愛する心情や態度の育成を図っていきたくと考えています。

令和七年度、六十六名の教職員で四百五十八名の学園生の未来のために尽力します。今後とも本学園を見守っていただきますと共に、ご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

本日、色とりどりの花が咲き、春の風が爽やかに感じるこの佳き日に、キラキラと輝く三十九名の入学式が行われました。これからの一年間、学園生の成長する姿がまた楽しみです。（校長）